

2011年9月度役員会議事録

日時：2011年9月13日(火)17:30～18:30

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田、秋友、横田、南、横山、岡林

議題

第2回コンクリート技術研修会について

1. アンケート集計結果

秋友顧問作成のアンケート結果を基に議論を行った。

問1：あなたの所属は

建設関係が80%を占め、官庁関係者の参加が少なかった。

問2：研修会が開催されることを何で知りましたか。

所属団体からが80%程度、口コミが10%およびホームページが7%であった。

問3：研修会に参加された動機は

継続学習への取組みが53%、テーマが良く面白そうが44%およびその他3%の順であった。

問4：研修会の内容は

ほぼ満足が58%、満足が20%、どちらともいえないが20%、やや不満が2%であった。

問5：やや不満・不満と感じた理由

結果説明・報告だけであり、次に求められるものが見えない。

問6：次回の研修で希望するテーマ・内容

特殊コンクリート(流動化等)、コンクリート品質確保の具体的事例、劣化診断報告、ひびわれ対策について、補修事例、品質管理手法の向上対策、結果を踏まえた上での今後の対策、現場報告・技術提案事例およびコンクリート甲子園までの道のりであった。

問7：今後の研修会への対応

テーマ・内容により決めるが60%、参加するが40%であった。

2. 今後の対策

① 研修会の周知方法について

- ・ 建設関係は建協本部から各支部に連絡をお願いする。官庁関係は、参加費を請求書扱いで対応してほしい旨の要請があったので対応する。県関係は技術公社等にも参加要請をお願いする。
- ・ 開催日と場所および大まかな内容を早期に決め、HPの掲載期間を長くする。

② 内容等について

- ・ 今回のアンケートでは、継続学習以上にテーマの重要性が確認できた。
- ・ 継続学習の単位はCPDSに統一する
- ・ 補修事例および技術提案の量を増やす。
- ・ 中立的な立場から、コンサルタント会社に補修のフロー等の発表を行ってもらおう。
- ・ 初期欠陥等の対策(ひびわれ抑制策)についての報告
- ・ 日本コンクリート診断士会等の外部講師を招く。

③ 開催時期、場所、会費および参加人数について

- ・ 今回の収支は¥22,000の収益であった。
- ・ 開催時期は8月として、曜日は火～木とする。
- ・ 場所は、会場費が安くアクセスが容易なところを検討する。
- ・ 会員にも会費の一部を負担してもらおう。(¥1,000)
- ・ 参加料金を¥3,000から¥2,000に圧縮する。
- ・ 参加人数は100～150人程度とする。

3. その他

① 断士会の会員数増加を目的とした受験者支援について

県内の受験者数を調べ、具体策を講じる。論文対策をメインとする。(募集人員、参加料、講師、内容)

② パンフレットについて：A4番3つ折を作成しましたので参考にして下さい。

2011年9月14日
文責 広報 岡林